

著者 スーザン・リン 監訳 近喰 ふじ子

A5判 209ページ 定価 2,800円+税

発行 2021年2月5日

ISBN 978-4-87055-141-1

著者はパペット療法士であり、心理学者、腹話術師でもあるスーザン・リン氏。パペットを用いたごっこ遊びに秘められた力を実例を挙げて解説しています。

長年に渡りパペットを用いたエンターテイメントに携わった経験から“子どもが口に出せずにいる本当の気持ち(偽りのない感情や悩み)はパペット遊びを通して表現させることができる”と確信した著者が、パペットを用いたセラピーを子どものこころの治療手段として取り入れ、そのエピソードを紹介。

子どもの悩みは大人から見れば取るに足らない生活環境の変化から家族の死、自らの重い病まで種類も程度もさまざま。子どもたちの繊細なこころのケアにパペットを用いたごっこ遊びを取り入れてみませんか。

その他、商業化された文化が台頭してきたことによって脅かされている“創造的な遊び”の重要性や現代の子どもの遊びを取り巻く多くの問題についても一石を投じています。

≪ 目次 ≫

PART1 ごっこ遊びの実情 なぜ遊ぶの？

Chapter1 だれかのまねをして自分を守る ごっこ遊びの必要性

Chapter2 売り切れ 商業主義、テクノロジーと創造的な遊び

Chapter3 赤ちゃん詐欺 乳幼児用ビデオ教材の効果に関する嘘

Chapter4 真実の愛 D.W. ウィニコットに恋して

PART2 ごっこ遊びとその意義 問題に対処するための遊び

Chapter5 マイケル 不安や恐れを克服するための遊び

Chapter6 ジョーイ、オリビア、エンマ 遊びの制限、境界、そして自由

Chapter7 カラ ごっこ遊びに隠れた真実

Chapter8 アンジェロ 遊びに反映された秘密

PART3 ごっこ遊びの現実 遊びと文化的価値

Chapter9 ドカン！ バシッ！ ウッ！ メディア暴力がいかにより遊びを脅かしているか

Chapter10 プリンセスの罨 ごっこ遊びと児童期中期の喪失

Chapter11 生きるための遊び 私たちがごっこ遊びから得られるもの

Chapter12 サシャ、お豆さんが呼んでいますよ 遊びを奪おうとする文化の中で遊びを育むこと